

## 産業廃棄物処理業景況動向調査結果について 〔2017 年 4-6 月期〕

公益社団法人全国産業廃棄物連合会

### 〔調査結果の概要〕

景況判断 DI は▲14 となり、5 期ぶりに悪化した。

2017 年 4-6 月期の景況判断を「悪化」とした企業は 21%で前回調査（2017 年 1-3 月期 20%）より 1 ポイント悪化、「好転」とした企業は 7%で前回調査（8%）より 1 ポイント悪化した。景況判断 DI は▲14 となり、前回調査（▲12）より 2 ポイント悪化した。

以下、その他業況感 DI の内訳

2017 年 1-3 月期に対して、

- ・売上高 DI は▲6 で、1 ポイント悪化
- ・処理量 DI は▲3 で、3 ポイント改善
- ・契約単価 DI は▲4 で、4 ポイント悪化
- ・営業利益 DI は▲13 で、9 ポイント悪化
- ・資金繰り DI は▲1 で、3 ポイント悪化
- ・借入難易度 DI は 7 で、2 ポイント改善
- ・設備投資 DI は 2 で、同水準
- ・従業員数 DI は 5 で、4 ポイント改善

- 今後の景況感 DI の見通しは、景況判断 DI で▲15 となり、1 ポイント悪化する見込みとなっている。
- 売上高の動向については、前年同期比（3 ヶ月平均）で 5.2%増となった。
- 処理量の動向については、前年同期比（3 ヶ月平均）で 9.19 増となった。
- 経常利益率については、平均値が 5.61%で前回調査（5.38%）より改善した。
- 経営上の問題点としては、「需要の停滞」20.2%（前回 21.1%）、「従業員の不足」17.8%（前回 13.6%）、「同業者相互の価格競争の激化」17.0%（前回 18.0%）と引き続き上位となった。「従業員の不足」が前回の 3 位から 2 位に上昇している。

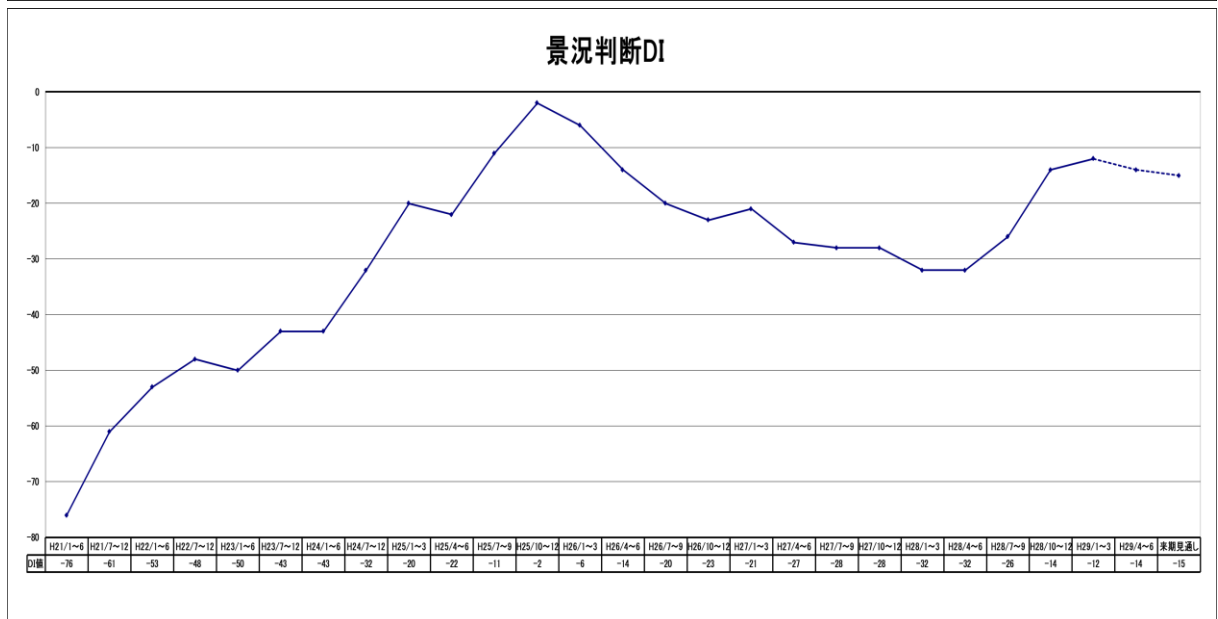
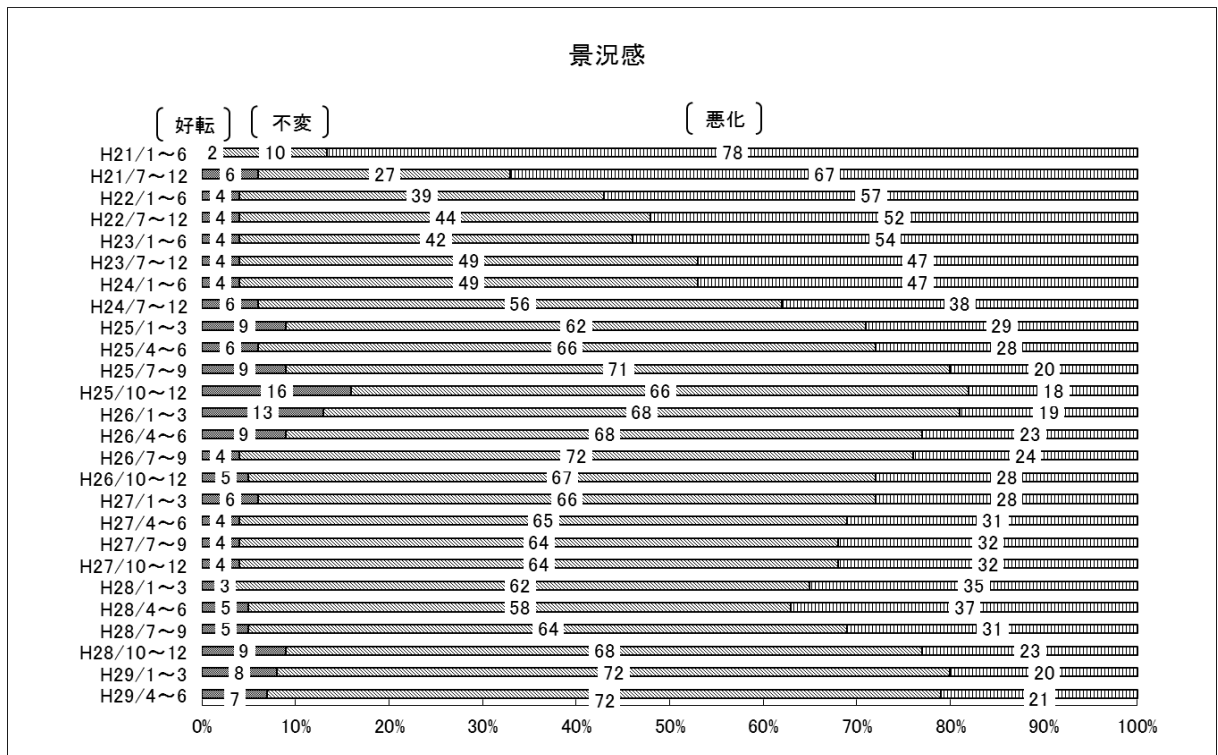
※DI とは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「好転」・「増加」したなどとする企業割合から、「悪化」・「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

※本調査は、2009 年から半期周期の調査として実施していたが、2013 年からは四半期周期の調査に変更している。

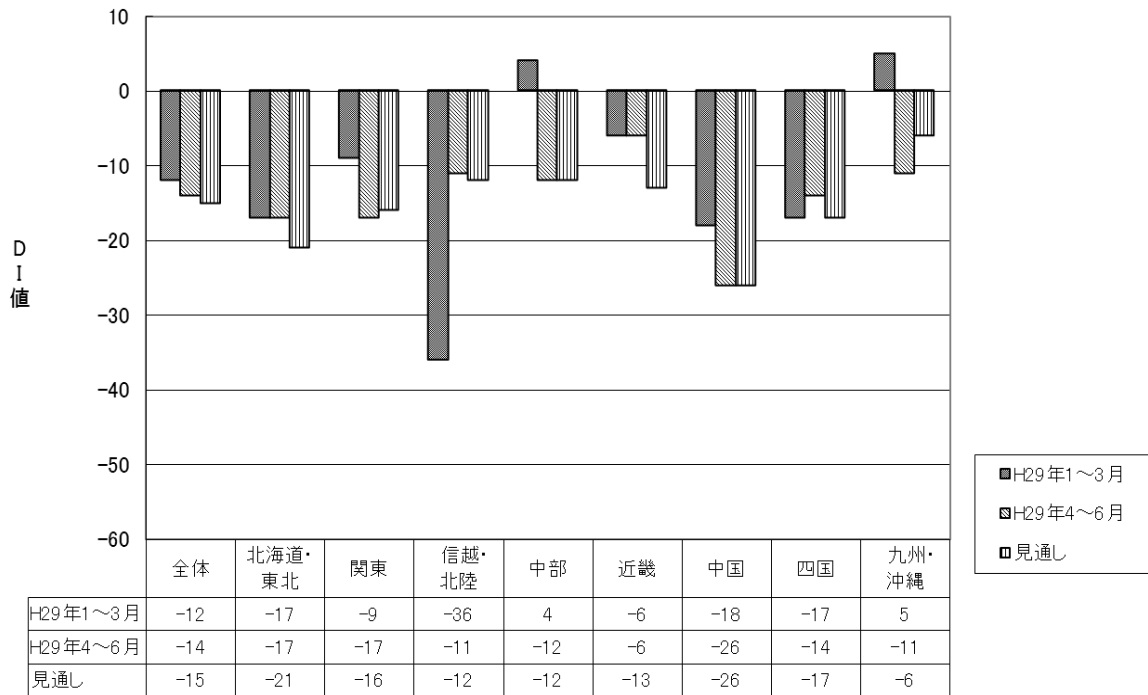
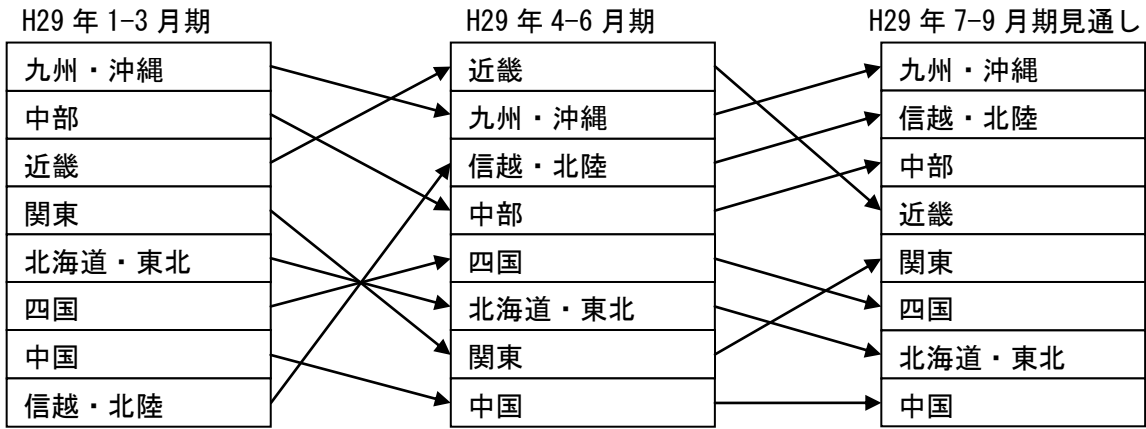
# 1. 景況感 DI (「好転」・「増加」－「悪化」・「減少」の企業割合)

## (1) 景況判断 DI

- 全体の景況判断 DI は、今回▲14 となり、前回と比べて 2 ポイント減と悪化した。  
見通しは▲15 となり、1 ポイント悪化する見込みとなっている。
- 地域別の景況判断 DI でみると、前回と比べて「関東」、「中部」、「中国」、「九州・沖縄」が悪化した。最も好調なのが「近畿」となった。(3 ページ参照)
- 地域別の景況判断 DI の見通しをみると、「九州・沖縄」が最も好調となっている。  
(3 ページ参照)



地域別景況判断D I



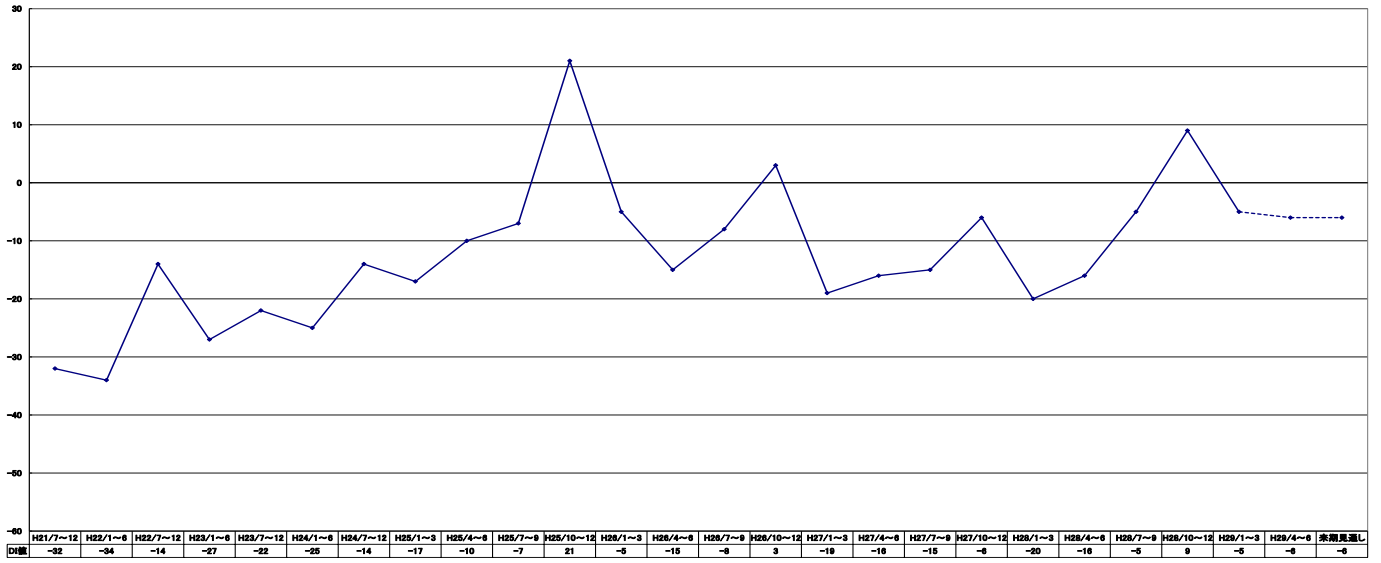
**(2) 売上高 DI、処理量 DI、契約単価 DI、営業利益 DI、資金繰り DI、借入難易度 DI、設備投資 DI、従業員数 DI**

- 前回と比べて処理量 DI・借入難易度 DI・従業員 DI の 3 指標が改善した。最も改善したのが従業員 DI となった。
- 見通しは、契約単価 DI のみが改善する見込みとなっている。

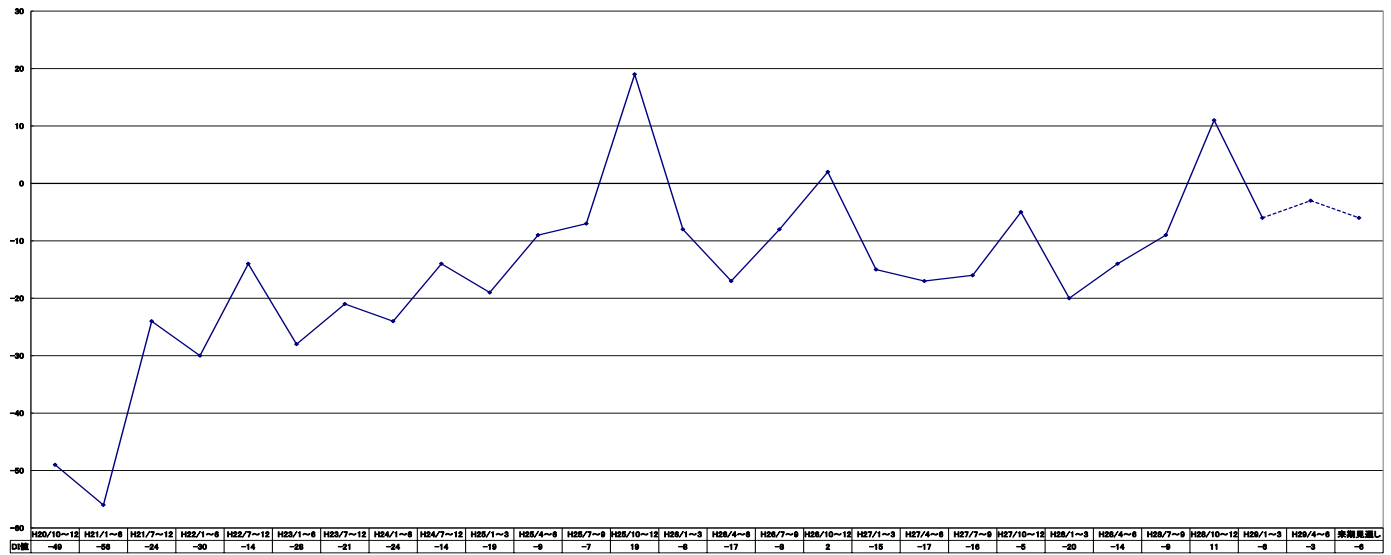
以下詳細 (5 ページ参照)

- ・売上高 DI は、今回▲6 となり、前回と比べて 1 ポイント悪化した。  
見通しは▲6 となり、同水準で推移する見込みとなっている。
- ・処理量 DI は、今回▲3 となり、前回と比べて 3 ポイント改善した。  
見通しは▲6 となり、3 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・契約単価 DI は、今回▲4 となり、前回と比べて 4 ポイント悪化した。  
見通しは▲1 となり、3 ポイント改善する見込みとなっている。
- ・営業利益 DI は、今回▲13 となり、前回と比べて 9 ポイント悪化した。  
見通しは▲13 となり、同水準で推移する見込みとなっている。
- ・資金繰り DI は、今回▲1 となり、前回と比べて 3 ポイント悪化した。  
見通しは▲4 となり、3 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・借入難易度 DI は、今回 7 となり、前回と比べて 2 ポイント改善した。  
見通しは 4 となり、3 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・設備投資 DI は、今回 2 となり、前回と同水準となった。  
見通しは▲1 となり、3 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・従業員数 DI は、今回 5 となり、前回と比べて 4 ポイント改善した。  
見通しは 1 となり、4 ポイント悪化する見込みとなっている。

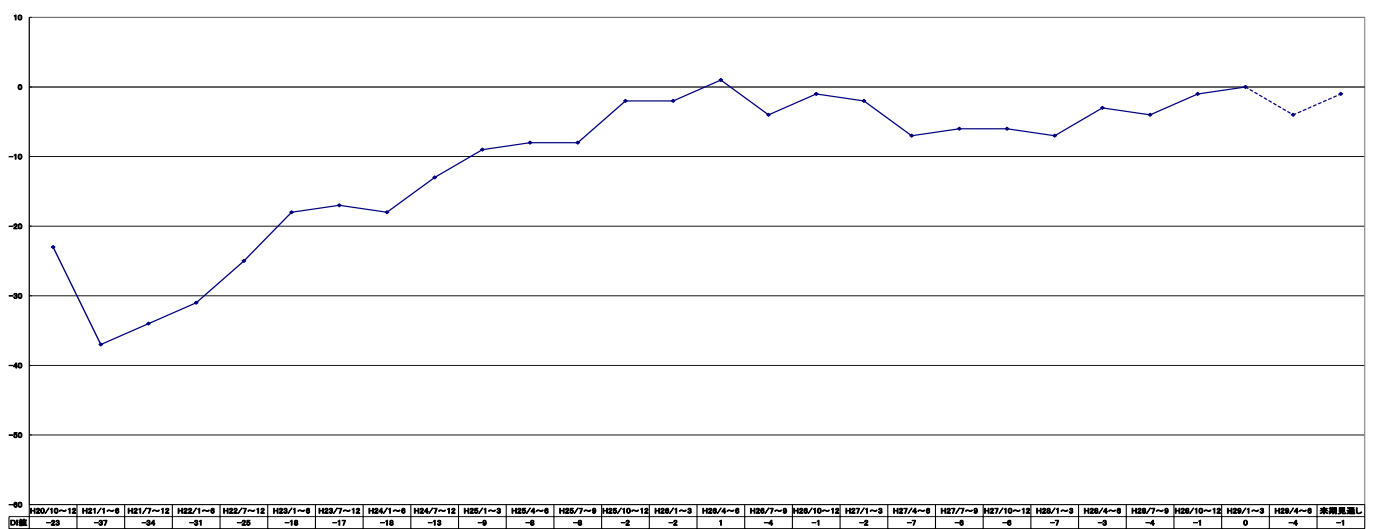
### 売上高DI



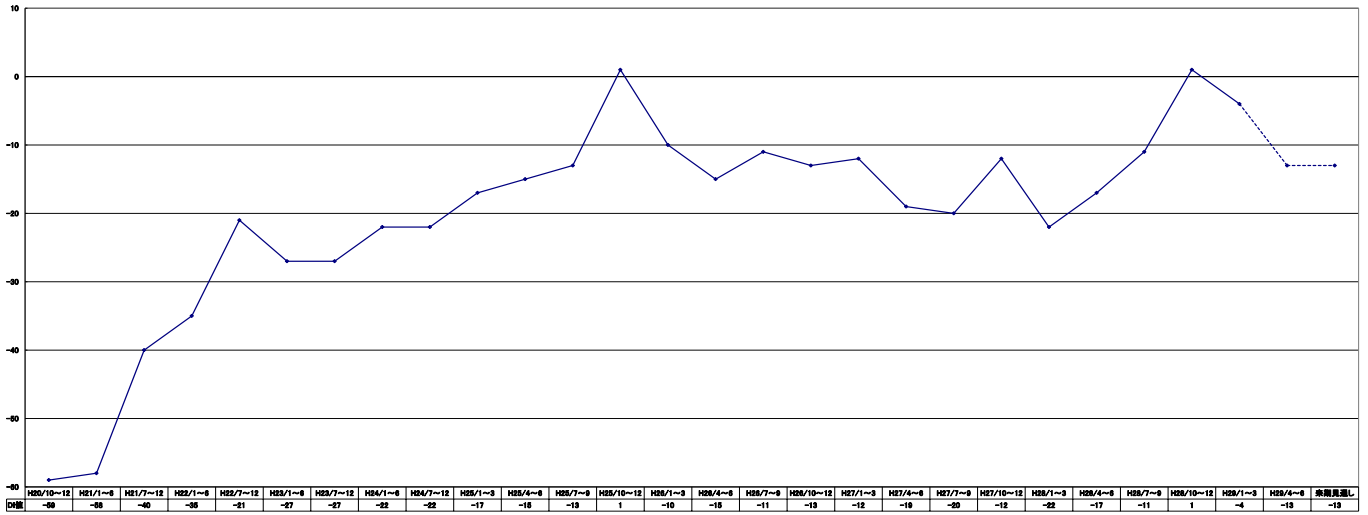
### 処理量DI



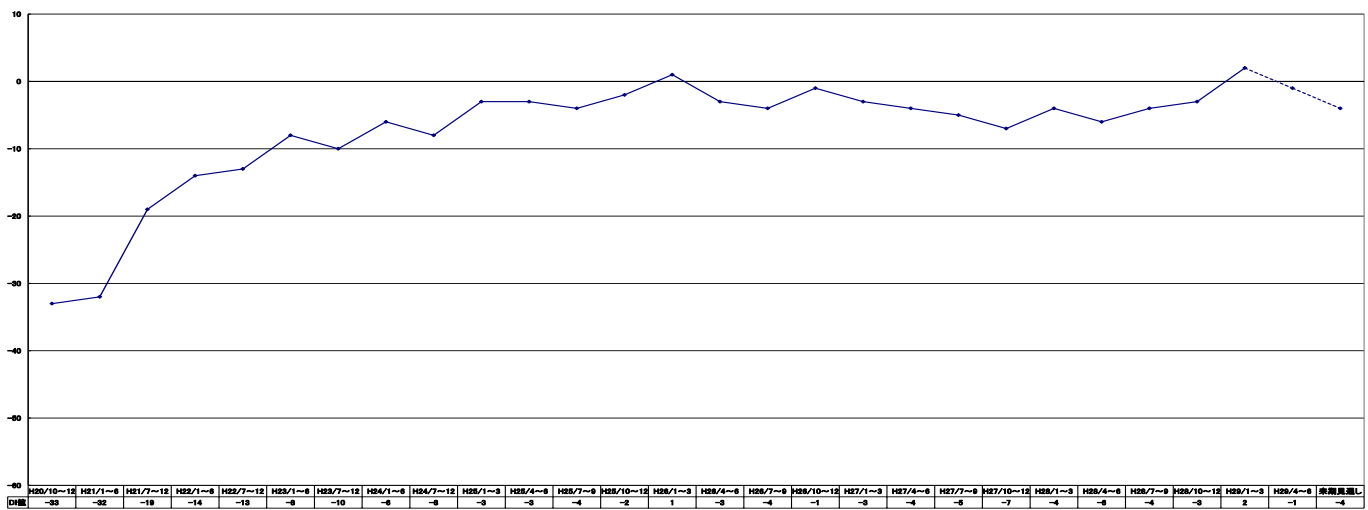
### 契約単価DI



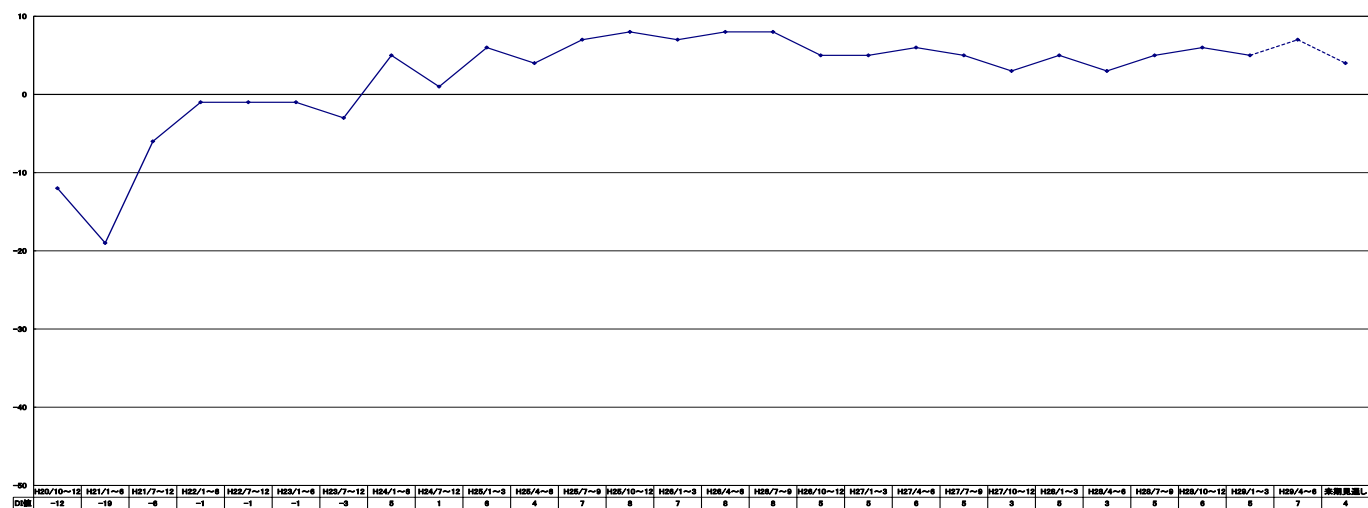
### 営業利益DI



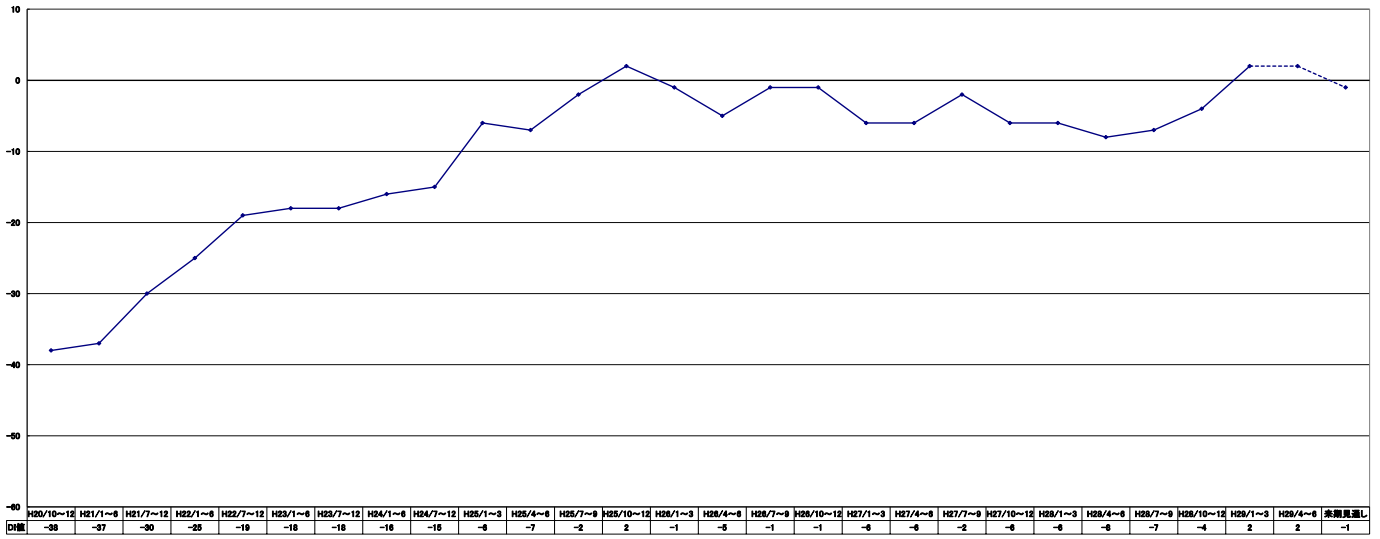
### 資金繰りDI



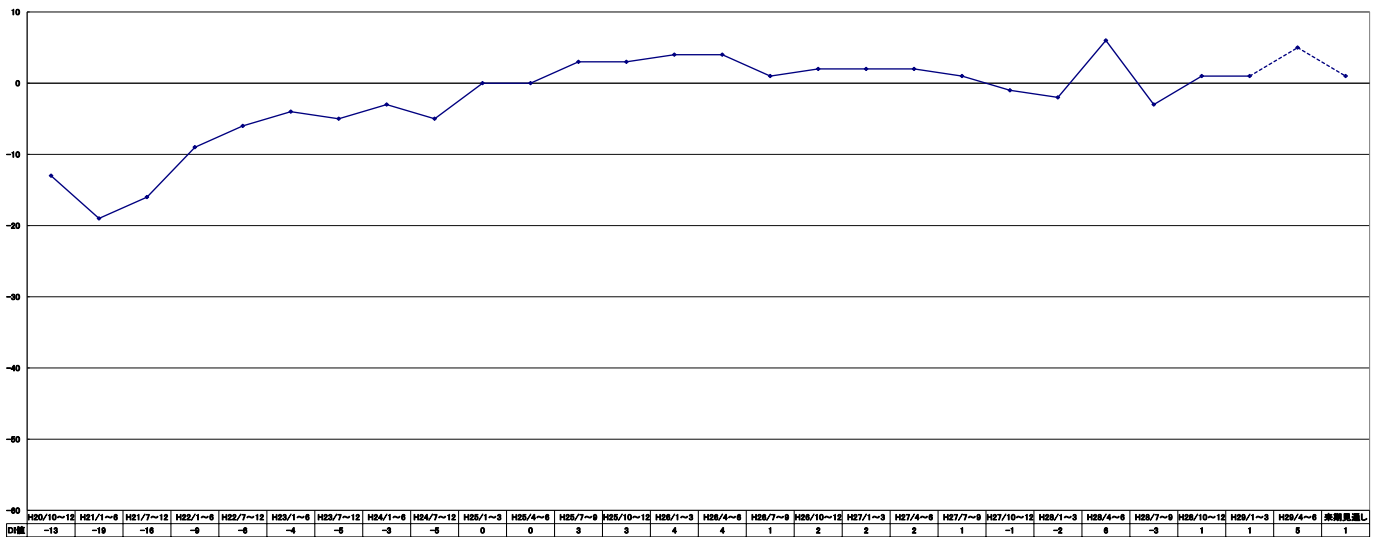
### 借入難易度DI



## 設備投資DI

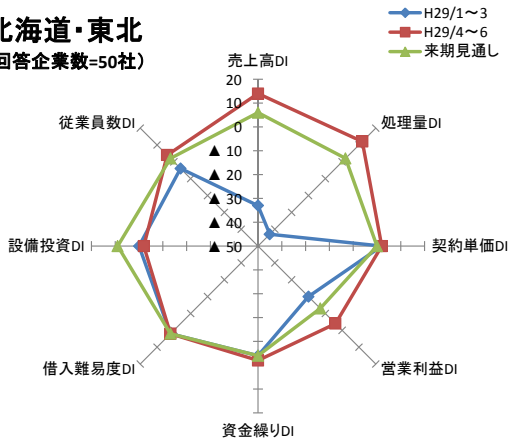


## 従業員数DI

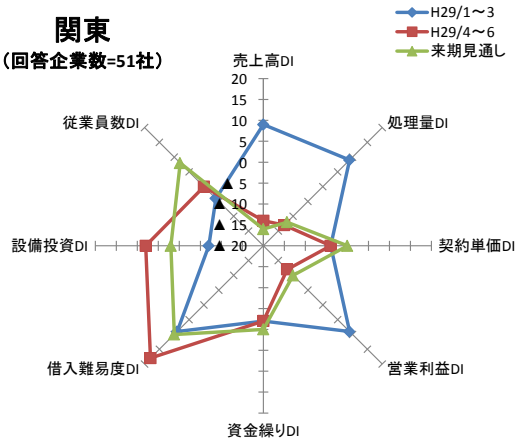


【地域別レーダーチャート】

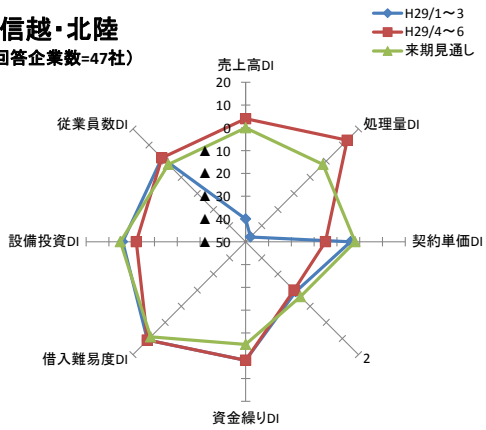
北海道・東北  
(回答企業数=50社)



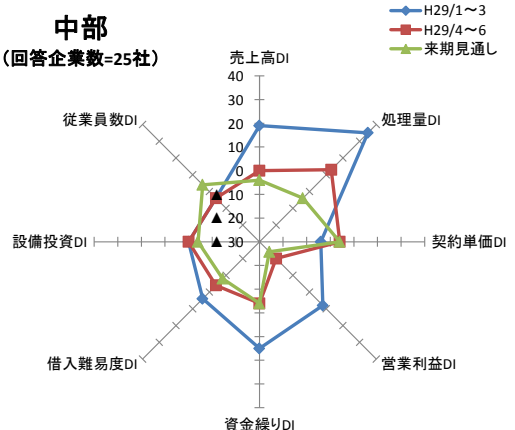
関東  
(回答企業数=51社)



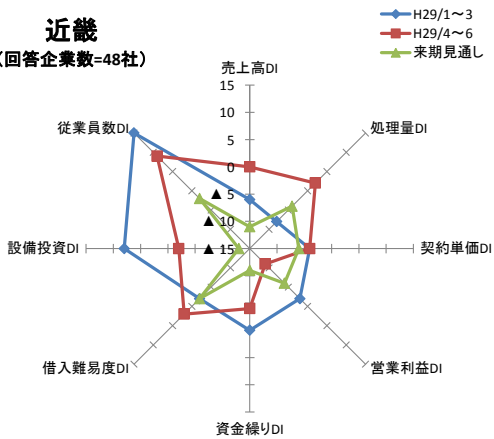
信越・北陸  
(回答企業数=47社)



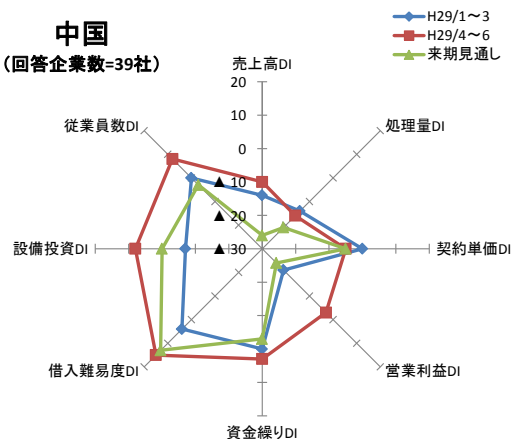
中部  
(回答企業数=25社)



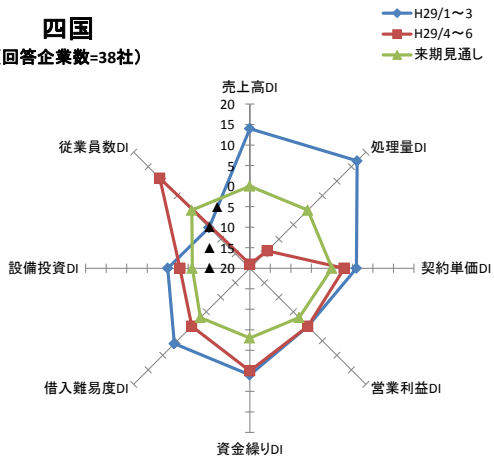
近畿  
(回答企業数=48社)



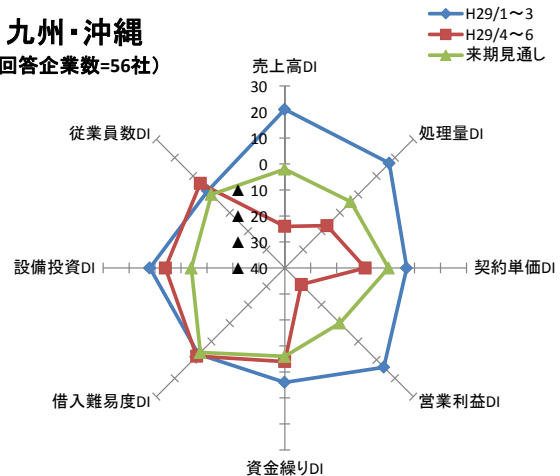
中国  
(回答企業数=39社)



四国  
(回答企業数=38社)



九州・沖縄  
(回答企業数=56社)





### 3. 売上高の動向

○ 前年同期比（3ヶ月平均）では、5.2%増となった。

有効回答数：224社

単位：千円

	H28年4月	H28年5月	H28年6月	平均
全体	9,571,139	8,940,048	9,978,172	9,496,453
	H29年4月	H29年5月	H29年6月	平均
全体	9,829,388	9,596,446	10,532,542	9,986,125
前年比	2.7%	7.3%	5.6%	5.2%

### 4. 処理量の動向

○ 前年同期比（3ヶ月平均）では、9.9%増となった。

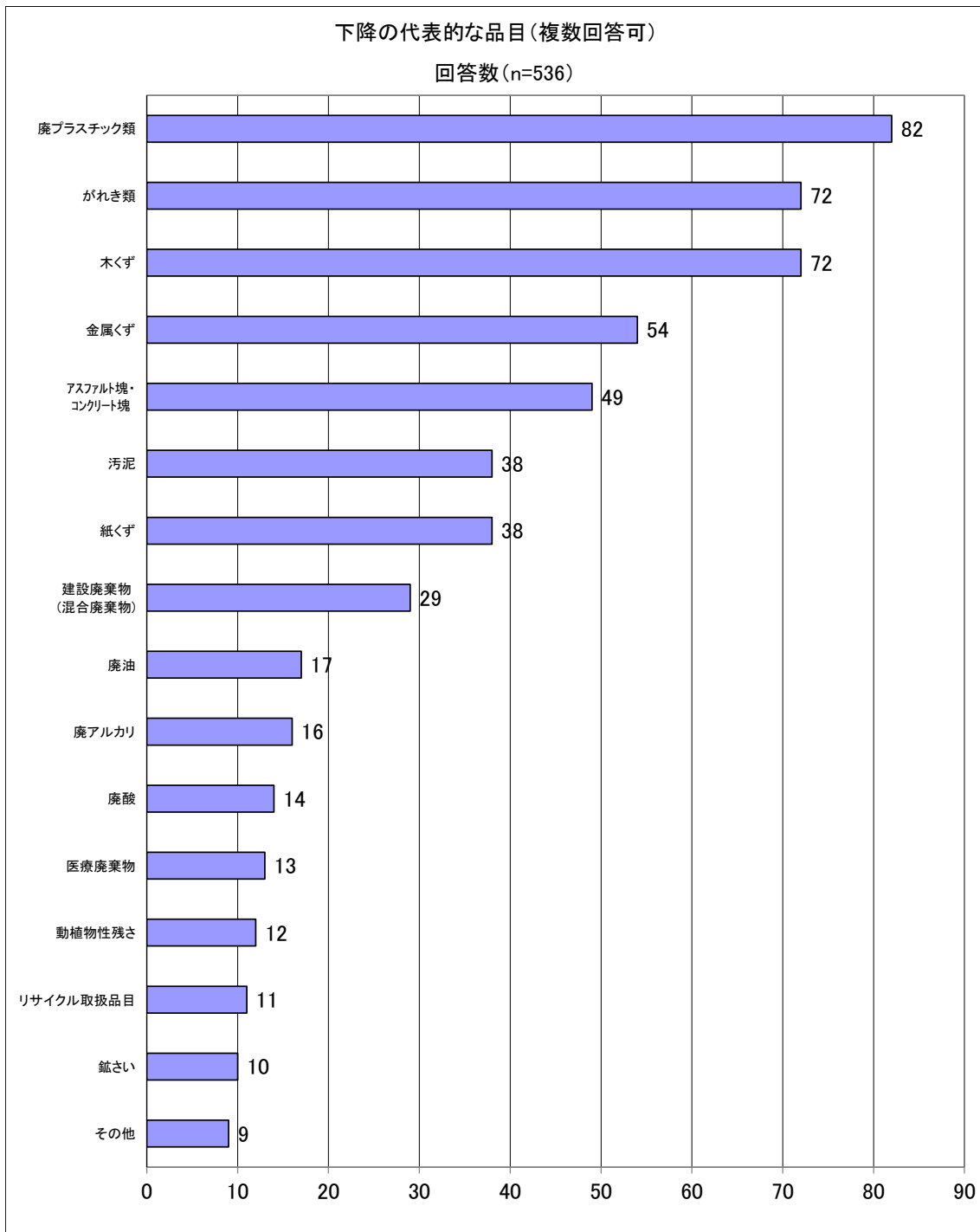
有効回答数：223社

単位：トン

	H28年4月	H28年5月	H28年6月	平均
全体	537,366	510,481	566,589	538,145
	H29年4月	H29年5月	H29年6月	平均
全体	579,923	607,068	599,796	595,595
前年比	8.3%	17.0%	6.2%	9.9%

## 5. 代表的な値下げ品目（複数回答可）

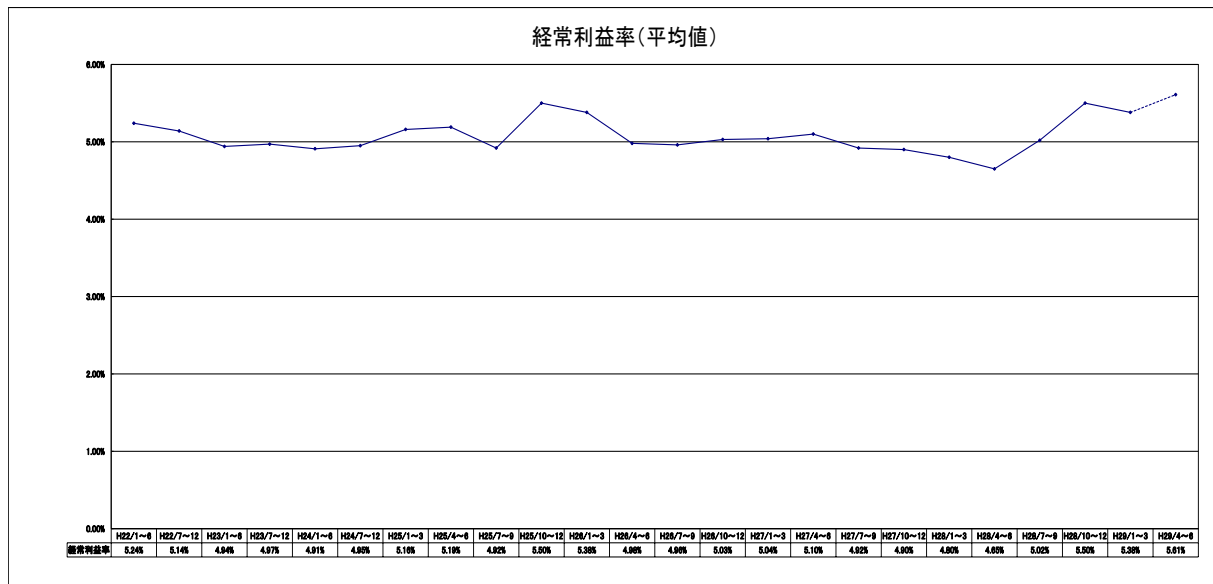
- 代表的な値下げ品目としては、1位「廃プラスチック類」、2位「がれき類」、3位「木くず」、4位「金属くず」、5位「アスファルト塊・コンクリート塊」となった（前回調査1位「廃プラスチック類」、2位「がれき類」、3位「木くず」、4位「金属くず」、5位「アスファルト塊・コンクリート塊」）。
- 上位5位合わせて、6割と高い割合になっている。



## 6. 経常利益率（経常利益の対売上高比率）

- 経常利益率の平均値（注1）は前回調査の5.38%から5.61%と改善した。
- 経常利益率をみると、「5%未満」との回答割合が33.0%、「5-10%未満」が18.5%、「10%以上」17.2%、「把握なし」31.3%となった（前回調査「5%未満」34.1%、「5-10%未満」14.0%、「10%以上」17.5%、「把握なし」34.4%）。

平均値 <sup>(注1)</sup>	中央値 <sup>(注2)</sup>	最頻値 <sup>(注3)</sup>
5.61%	5-6%	10%以上



(注1) 平均値は、各選択肢の「代表値（各選択肢の幅の中間値）」×回答人数」を足した値を回答人数（把握なしを除く）の合計で割って算出する。なお、1%未満の代表値は0.5%、10%以上の代表値は10.5%とする。

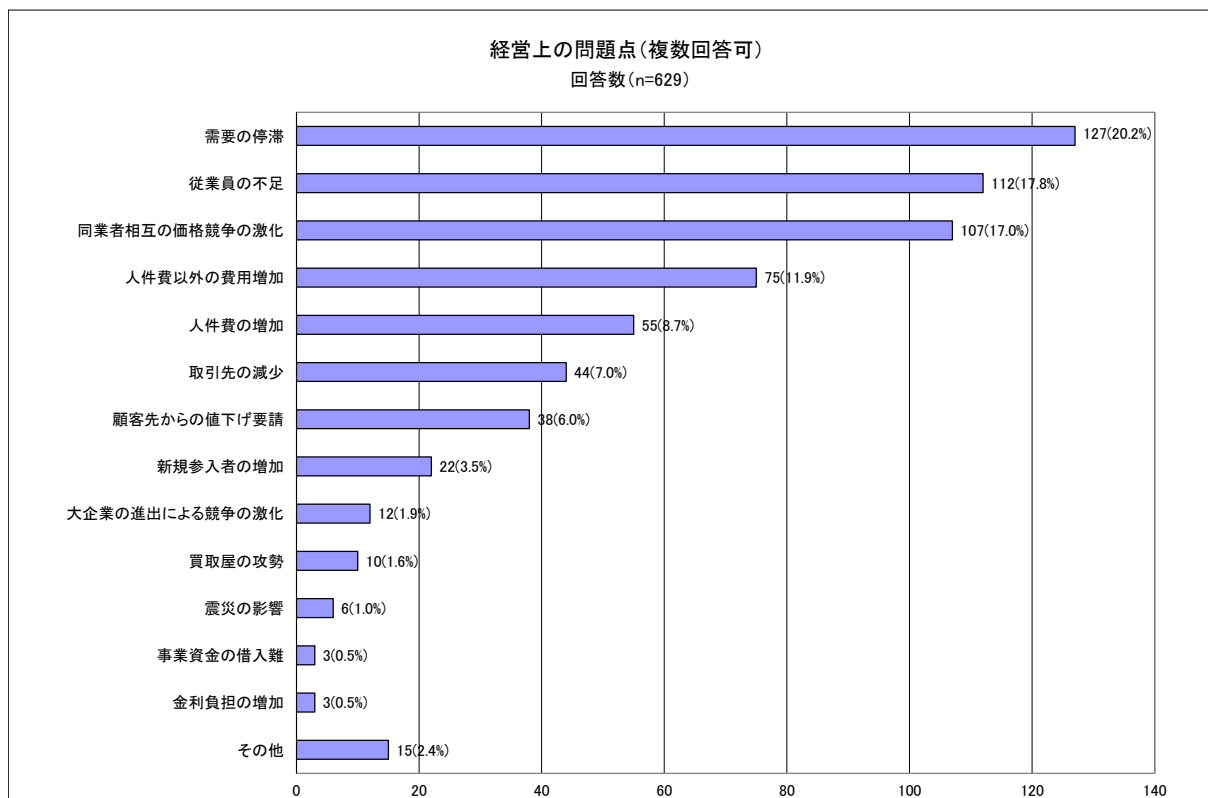
(注2) 中央値は、回答（把握なしを除く）を昇順あるいは降順などの順番に並べて、中央に位置する値。

(注3) 最頻値は、最も回答人数（把握なしを除く）が多い値。

## 7. 経営上の問題点（複数回答可）

○ 経営上の問題点としては、経営上の問題点としては、1位「需要の停滞」、2位「従業員の不足」、3位「同業者相互の価格競争の激化」、4位「人件費以外の費用増加」、5位「人件費の増加」となった（前回調査1位「需要の停滞」、2位「同業者相互の価格競争の激化」、3位「従業員の不足」、4位「人件費以外の費用増加」、5位「人件費の増加」）。

「従業員の不足」17.8%（前回13.6%）が前回の3位から2位に上昇している。



### 【その他の代表的な意見】

- ・ 公共工事の減少
- ・ 燃料代の値上げ
- ・ 高速料金の増加
- ・ 修理費負担の増加（設備老朽化対応）
- ・ 法規制（県外産廃の搬入規制）
- ・ 中国の規制強化による取引遅延
- ・ 受入ヤードの不足

## 〔調査実施要領〕

本調査は、産業廃棄物処理業の景気動向について把握するため、2008年10月-12月期の本調査において回答のあった全国の協会会員企業、全国産業廃棄物連合会理事及び部会運営委員会委員を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、集計したものである。

### (1) 調査対象者

「景況動向調査（2008年10月-12月期）」で回答のあった全国の協会会員企業、全国産業廃棄物連合会理事及び部会運営委員会委員

### (2) 調査期間

平成29年7月10日～8月25日

### (3) 調査方法

郵送によるアンケート

### (4) 回答数・回答率

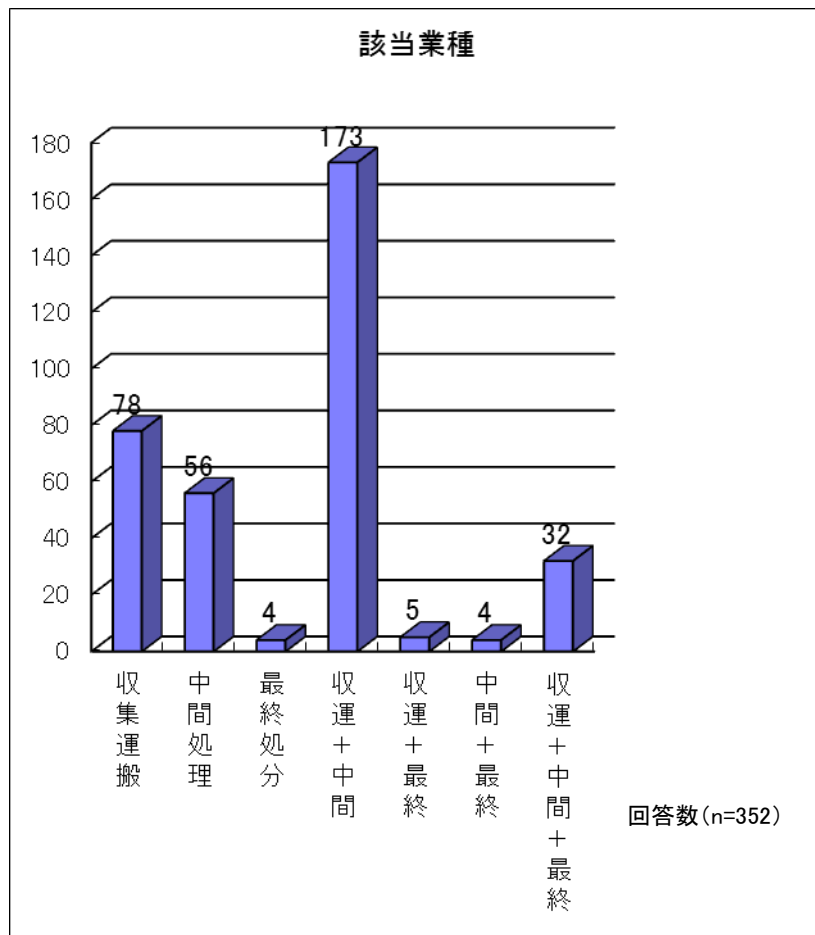
調査依頼企業数	1,053社
回答企業数	354社
回答率	33.6%

### (5) サンプル構成

#### ① 地域別構成

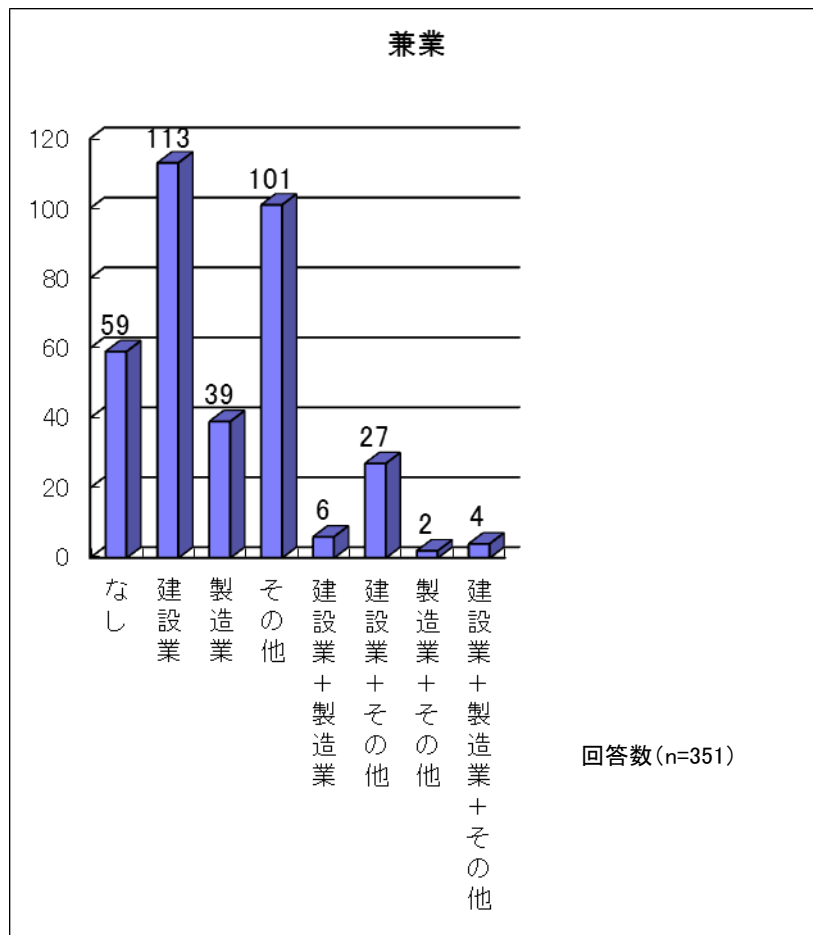
地域	企業数	構成比
北海道・東北	50	14.1%
関東	51	14.4%
信越・北陸	47	13.3%
中部	25	7.1%
近畿	48	13.6%
中国	39	11.0%
四国	38	10.7%
九州・沖縄	56	15.8%
合計	354	100.0%

② 業種別構成



該当業種	企業数	構成比
収集運搬	78	22.2%
中間処理	56	15.9%
最終処分	4	1.1%
収運+中間	173	49.1%
収運+最終	5	1.4%
中間+最終	4	1.1%
収運+中間+最終	32	9.1%
合計	352	100.0%

### ③ 兼業別構成



兼業	企業数	構成比
なし	59	16.8%
建設業	113	32.2%
製造業	39	11.1%
その他	101	28.8%
建設業+製造業	6	1.7%
建設業+その他	27	7.7%
製造業+その他	2	0.6%
建設業+製造業+その他	4	1.1%
<b>合計</b>	<b>351</b>	<b>100.0%</b>





## ○参考資料1(他業界との比較)

平成29年1月～平成29年6月(半期)の実績と来期の見通しについて、「建設業」及び「トラック運送業」の景況調査結果と本調査結果を比較。

※DIとは、「好転」・「増加」等とする企業割合から、「悪い」・「減少」等とする企業割合を差し引いた値。

### 〔景況感DI〕

	前期	今期	来期の見通し
	H29/1-3	H29/4-6	H29/7-9
産業廃棄物処理業	▲12	▲14	▲15
建設業(地元建設業界の景気)	▲15	▲13	▲24
トラック運送業	▲13	▲18	▲18

### 〔受注DI〕

	前期	今期	来期の見通し
	H29/1-3	H29/4-6	H29/7-9
産業廃棄物処理業(処理量)	▲6	▲3	▲6
建設業	▲15	▲17	▲29

### 〔資金繰りDI〕

	前期	今期	来期の見通し
	H29/1-3	H29/4-6	H29/7-9
産業廃棄物処理業	2	▲1	▲4
建設業	2	1	▲8

### 〔借入難易度DI〕

	前期	今期	来期の見通し
	H29/1-3	H29/4-6	H29/7-9
産業廃棄物処理業	5	7	4
建設業(銀行等貸出傾向)	13	12	9

### 〔従業員数DI〕

	前期	今期	来期の見通し
	H29/1-3	H29/4-6	H29/7-9
産業廃棄物処理業	1	5	1
建設業(建設労働者の確保)	▲40	▲45	▲49
トラック運送業(労働力の過不足)	66	62	67

### 〔収益DI〕

	前期	今期	来期の見通し
	H29/1-3	H29/4-6	H29/7-9
産業廃棄物処理業(営業利益)	▲4	▲13	▲13
建設業	▲16	▲17	▲28
トラック運送業(経常損益)	▲12	▲12	▲13

出典:平成29年度第1回建設業景況調査【北海道建設業信用保証株式会社・東日本建設業保証株式会社・西日本建設業保証株式会社】のデータに基づき連合会がDI値を算出。DI値の算出方法は、BSI値を2倍にして算出する。

出典:第98回のトラック運送業界の景況感(速報)【公益社団法人全日本トラック協会】のデータに基づき連合会がDI値を算出。DI値の算出方法は、「大幅増加」・「やや増加」等とする企業割合から、「大幅減少」・「やや減少」とする企業割合を差し引く。

## ○参考資料2(日銀短観との比較)

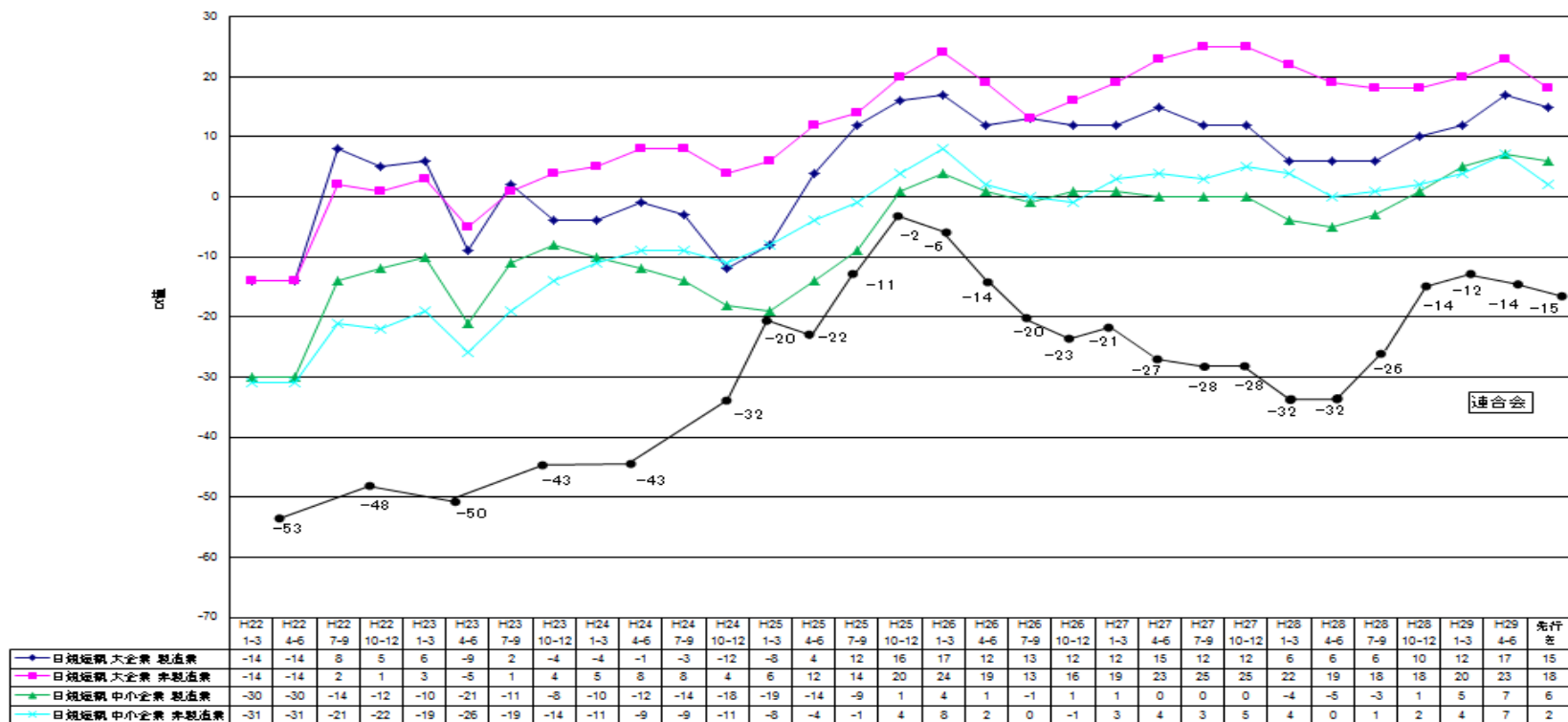
平成29年1月～平成29年6月(半期)の実績と先行きについて、日本銀行が公表する「短観(全国企業短期経済観測調査)」と本調査結果を比較。

※DIとは、「好転」「増加」等とする企業割合から、「悪い」「減少」等とする企業割合を差し引いた値。

### 〔景況判断DI〕

		前期	今期	先行き
		H29/1-3	H29/4-6	H29/7-9
産業廃棄物処理業		▲12	▲14	▲15
日銀短観	全規模 全産業	10	12	8
	大企業 製造業	12	17	15
	大企業 非製造業	20	23	18
	中小企業 製造業	5	7	6
	中小企業 非製造業	4	7	2

景況判断DIの推移



### 〔資金繰りDI〕

		前期	今期
		H29/1-3	H29/4-6
産業廃棄物処理業		▲1	▲4
日銀短観	全規模	16	17
	大企業	24	25
	中小企業	9	11

### 〔借入難易度DI〕

		前期	今期
		H29/1-3	H29/4-6
産業廃棄物処理業		7	4
日銀短観	全規模(貸出態度判断DI)	24	24
	大企業(貸出態度判断DI)	27	27
	中小企業(貸出態度判断DI)	20	21

### 〔設備投資DI〕

		前期	今期	先行き
		H29/1-3	H29/4-6	H29/7-9
産業廃棄物処理業		2	2	▲1
日銀短観	全規模(生産・営業用設備判断DI)	▲2	▲2	▲3
	大企業(生産・営業用設備判断DI)	0	▲1	▲1
	中小企業(生産・営業用設備判断DI)	▲3	▲3	▲5

### 〔従業員数DI〕

		前期	今期	先行き
		H29/1-3	H29/4-6	H29/7-9
産業廃棄物処理業		1	5	1
日銀短観	全規模(雇用人員判断DI)	▲25	▲25	▲29
	大企業(雇用人員判断DI)	▲15	▲16	▲18
	中小企業(雇用人員判断DI)	▲28	▲27	▲33